

12月4日から10日までは人権週間です

昭和23(1948)年12月10日に世界人権宣言が採択され、この日は「人権デー」として世界中で人権啓発を推進する記念行事が行われています。日本では、この「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日～10日)を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権意識の高揚に努めています。

「だれもが、自分らしく、幸せ・元気に生きること」は、すべての人の願いであり、当たり前のことでなければなりません。年齢、性別や国籍などの有無を問わず、この願いが叶えられていることで、人権が守られているといえます。

しかし、私たちの身の回りには、無意識のうちに相手の人権を傷つけたり、社会的な風潮や習慣の中で人権を侵害してしまったりすることがあります。これは、人権はむずかしいことであるとか、自分には関係ない、他人事と捉えていることに起因すると考えられます。このため、全国各地で人権意識の高揚を目指していますが、依然として他人を大切にす

る思いやりの心が希薄で、人権が軽視されるような出来事はたびたび起こっています。

特に、最近では、いじめや体罰、児童虐待などといった子どもに関わる人権問題、インターネット上の誹謗中傷、プライバシー侵害といった人権問題に加え、特定の民族や国籍の人びとを排斥する差別的言動(ヘイトスピーチ)が社会的な問題となつていきます。そのような中で、お互いが尊重される社会を築いていくためには、「人権」が他人事ではなく、自分自身の生き方に関わる大変重要なものであると認識することが大切です。

人権週間は、家庭・職場・学校など多くの場面で、家族や友だちなどみんなで人権を考える大切な1週間です。芦屋町でも、人権まつりの開催や街頭啓発など積極的に人権啓発活動に取り組んでいます。これを機会として、人権に触れ、他者を思いやる気持ちを持つとともに、その意義や重要性に関する知識を学び、人権への配慮が行動に現れるよう意識を育んでいきましょう。

人権週間の主な行事

■第18回芦屋町人権まつり

▽とき 12月10日(日)・午前10時～午後3時30分

▽ところ 町民会館

▽内容

○人権講演会

講師 杉山文野さん(NPO法人ハートをつなごう学校代表)

演題 性の多様性と人権

○青少年の主張大会

町内の小中学生が学校・家庭・地域などのかかわりの中で、日ごろ考えていることや感じていることを発表します。

○ふれあいイベント

各種団体が人権をテーマにダンスや演奏などの催し物を行います。

○その他

あそびの広場、人権啓発パネル展示、各種団体によるバザー、小中学生の人権作品展示など

■人権啓発パネルの展示

▽とき 12月1日(日)～12日(日)

▽ところ 役場1階ロビー

■人権作品展

小中学生がつくったポスター、標語を展示します。

▽とき 12月8日(日)～15日(日)

▽ところ 中央公民館3階 ギャラリーあしや

差別をなくすために 第378号

芦屋町人権・同和教育研究協議会

いじめや差別からつながる自殺

山鹿小学校6年 林 あおい



いじめや差別。だれもが耳にした事のある言葉だと思えます。みなさんはいじめをした事はありませんか。また、見てみぬふりをしていませんか。それもいじめです。理由はいろいろあると思います。ですが、それは、いじめからのがれるための言い訳です。自分で行動をおこさないと意味がありません。

差別も同じです。自分と体型がちがう、障がいをもっている、自分より勉強ができる、運動ができるなど、いろんな理由で差別をする人がいます。自分とちがうからといって、差別をしていいのでしょうか。

周りの人はどうでしょう。いじめや差別をしている人を注意しないでいいですか。自分がもし、いじめられたり、差別されたらどう思いますか。いじめをしている人も今まで自分がいじめをしていた人達に同じことをされたらうれしいですか。いじめや差別をしている人、見てみぬふりをしている人、一度自分がされていたらと自分におきかえて下さい。こういう事をしていると心が痛みませんか。見てみぬふりをしている人は、後できっと後かいです。そして、いじめや差別されている人は、自殺という行動をとってしまうこと

があります。いじめていた人達は心が弱いなどと言いますが、生きていく事が苦しいのです。だれにも相談できず、一人でかかえこみ、とてもつらいのです。自殺をしなくても力ツターなどで自分の手首や体を傷つけます。みなさんは、なぜそんなことをするのかと思ってもいいかもしれませんが、「現実から逃げたくて」「ストレスがたまつて」「生きていく事を実感したくて」などの理由でこういう行動をおこします。それほどいじめや差別は人を追い込むのです。

最後に、今、いじめや差別で苦しんでいる人に伝えたい事があります。人間という生き物に生まれたからには、自分が生まれた理由を探してみてください。がむしゃらに生きてみればきっと生きていく理由が見つかるはずですよ。自殺をする必要はただただ悲しみます。だれかに相談すると、あなたの味方が必ずいます。いじめや見てみぬふりをしている人達にも伝えたい事があります。あなた達は人をいじめるといふ事に今という大事な時間を使わないで下さい。明日は必ずあるとはかぎりません。この命を大事に、そして、今日を振り返らずに明日という希望をもって生きましょう。